

あかひら

No.356



2018.7

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



あかげら

7月号

も く じ

-
- 01 縦走路「ふるさとの山に」 佐々木善男
02 今後の日程（事務局）
-
- 03 今後の山行計画
-
- 07 運営委員会報告
08 事務局から
09 県連報告
12 専門部報告
●山行管理委員会 ●事務局 ●山行企画部 ●自然保護部
14 行ってきました！
-
- ▲山行報告
17 岩手山山行報告書 内堀 孝信
19 花と残雪と沼の焼石岳 阿部 好春
23 高下岳 和賀山塊との出会い かたつむり（蝸牛）山行 菊地 良夫
25 初級登山教室を引き受けて3年目 福山 茂和
-
- 26 ある日ある時 “すきとほった風” 淡 望天
28 交流の広場

旧都南村西見前に生まれて、岩手山は日常の景色の一部として見て育ちました。15才で地元を離れ、就職からずうっと県外でした。仕事で関西が長かったです。

関西の文化圏に十数年いましたが大阪人の気質にはなれませんでした。

盆正月に年一回程度、盛岡に帰ってきましたが、雨、雲で見えない、余裕がない等で、数年ぶりに岩手山に対峙した時に、雄大ですごい迫力だと思いました。「ふるさとの山に向かいて言うことなし・・・ありがたきかな」の詩と同じ心境になりました。私は今、生まれ故郷の盛岡にいるんだと実感しました。やはり最後に帰る所はここかな？と。

体を動かすのが好きで、小さめの玉の球技（ソフトボール、野球、テニス、ゴルフ）をやっていました。（パチコはしません。大きい球は全く不得意です。）3年前60才の時、ゴルフをし過ぎて腰を痛め、這って歩かねばならない状況に続けて2回になりました。もう年、腰を強く繰り返しねじるスポーツは無理とさとり、山歩きにしようと思いましたが、周囲（兵庫県在住）に山歩きしている人はいないので一人ですることにしました。最初に登る山はと考えた時、やっぱり岩手山しかないと思い込み、盆休みで帰省時、ゴルフの服とカップ、運動靴で雨の中、馬返しから登りましたが急勾配にびっくり、5合目過ぎで雨が強くなり逃げかえりました。くやしくて滝沢駅までウオーキングしました。（後で考えたら初めに岩手山は無謀）

兵庫県に戻って道具を購入、六甲周辺でトレーニングして、10月10日に岩手山に再チャレンジ。気温3℃の暴風でお鉢を目前にして撤退、北国の名峰はなかなか山頂に登らせてくれない。（私がへばなだけか？）翌2016年焼き走りからやっと山頂に到達しました。

昨年岩手に戻り、通常のトレーニングは、岩山（野鳥観察コース、山王小学校・城東中学校コース他、ニホンカモシカ、狸にも遭遇、高山植物も有る、岩山って山なんだと実感）、七ツ森（雫石、標高350～300mの5低山を周回、静かな土の登山道）、伊南の階段（1段16cm×41段×地下～屋上×15往復＝鞍掛山1往復相当、冬は良い）で行っています。

ある日ネットを見ていると、姫神山の4コースを一日で往復した人の情報がありました。今年私もやってみようと思いました。5月22日6時前一本杉コース→山頂→田代登山口→山頂→城内登山口→山頂→こわ坂登山口→山頂→一本杉コースへ下山、8.5時間。当日天気が良すぎ（盛岡最高28℃晴れ）最後はばてました。翌日から2日間、階段下りは苦痛でした。自分の限界が見えたのと、技術は初心者だけど体力はまだあるかなと思いました。

「雨にも負けず、風にも負けず・・・」は日本一有名な詩だそうです。山歩きでは、雨・風の強い日は、少なくとも一人ではそういう日は山には行きません。15歳までしかこの辺にいなかった私は周囲の地理がわからず、地名を言われても何処かわからず、周囲の人によく笑われます。会の山行に参加することで、集合場所、登山口等、だいぶ覚ええました。

来月で入会してから1年になります。講習会、会の山行で色々なことを教えて頂きました。しかし天気予報で良い日を選び、花や景色の良い所で自分の好きなように動ける単独行も捨てがたい。今後もトレーニングと会の山行と単独行を並行して、末長く健康登山を続けたいと思います。

今後の日程 (2018/8/1~2018/9/3)

行事		行事	
8/1	◇新入会員オリエンテーション	18	
水		土	
2	▲秋田駒ヶ岳 (スケッチ)	19	▲岩手山 (四季)
木		日	▲室根山 (山行企画)
3		20	
金	7/30~8/5 No.416 福山茂和	月	
4		21	
土		火	
5	▲早池峰山 (剣ヶ峰) (名山)	22	◎8月例会 (勤労福祉会館) 18:45~
日		水	
6		23	8/20~8/26 No.385 小田嘉洋
月		木	
7	☆県連理事会	24	
火		金	
8	◎運営委員会 (杜陵老人福祉センター) 18:45~	25	
水		土	
9		26	▲黒倉山、姥倉山 (ゆうゆう)
木	8/6~8/12 No.433 岡 義博	日	▲鳥海山 (山行企画)
10		27	
金		月	
11	▲八方山 (自然保護)	28	
土		火	
12		29	
日		水	
13		30	▲焼石岳 (ウィーク)
月		木	
14		31	8/27~9/2 No.279 松田幸久
火		金	
15		9/1	
水		土	
16		2	☆岩手山 (創立記念山行)
木		日	☆姫神山 (創立記念山行)
17		3	9/3~9/9 No.002 渡邊健治
金	8/13~8/19 No.455 大倉 博	月	

- ◆「やま・ともサロン」は日程を決めず、会員の希望により随時開放します。ご希望の方はお電話ください。
090-4318-5128 (No. 19 中村美栄子)
- ◆山行管理専用アドレス: morioka_yamakan@freeml.com

今後の山行計画

* 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

【山域/ルート】 秋田駒ヶ岳			企画	心のスケッチ山行クラブ
実施日	8月2日(木)	地形図	秋田駒ヶ岳(1/25000)	
目的	心のスケッチ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	国見温泉～横長根～ムーミン谷～男岳～馬の背～横岳～大焼け砂～横長根～国見温泉の周回コース			
締切り	7月29日(月)	打ち合わせ	7月30日(月)	18:30 おでつて 2F
問合せ	工藤敬子 連絡先: TEL 019-635-3203 FAX可			

【山域/ルート】 早池峰山(剣ヶ峰)			企画	岩手の名山歩こうかい
実施日	8月5日(日)	地形図	早池峰山・高松山(1/25000)	
目的	歩くことの少ないの剣ヶ峰コースを歩く			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	悠久のトンネルから早池峰山経由で小田越えに下ります。 剣ヶ峰からの早池峰山を見る 総距離 10km			
締切り	7月27日(金)	打ち合わせ	7月30日(月)	おでつて 2F 18:30
問合せ	小田嘉洋 連絡先: TEL 090-8781-8137 ショートメール可			

【山域/ルート】 八方山			企画	自然保護部
実施日	8月11日(土) 山の日祝日	地形図	尻平川(1/25000)	
目的	ヤマビル生息の観察			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	シカなどの足元にヤマビルが付着しシカの移動に伴い被害範囲が広がっている			
締切り	8月4日(土)	打ち合わせ	8月6日(月)	おでつて 2F 18:30
問合せ	連絡先: TEL 433 岡 義博 080-6542-8872			

【山域/ルート】 岩手山 2038m 七滝コース			企画	四季の山
実施日	8月19日(日)	地形図	松川温泉、篠崎、姥屋敷(1/25000)	
目的	真夏の岩手山ロングコースを歩く			
難易度	歩行:★★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	変化に富んだコースです。下山は鬼が城経由で七滝へ。 チャレンジしてみませんか。			
締切り	8月4日(土)	打ち合わせ	8月8日(水) 18:30 おでって2F	
問合せ	遠藤千鈴子 080-1817-1506 (SNS可)			

【山域/ルート】 室根山 895.4m			企画	山行企画部
実施日	8月19日(日)	地形図	折壁(1/25000)	
目的	写真撮影			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	夏の山野草を見てきましょう。			
締切り	8月5日(日)	打ち合わせ	8月6日(月) 18:30 おでって2F	
問合せ	千田勝則 連絡先:019-635-0201			

【山域/ルート】 黒倉山&姥倉山			企画	ゆうゆう
実施日	8月26日(日)	地形図	姥屋敷(1/25000)	
目的	黒倉山から素晴らしい景色を見ましょう			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	網張からリフトで往復して黒倉山&姥倉山を歩きましょう			
締切り	8月11日(土)	打ち合わせ	8月13日(月) おでって2F18:30	
問合せ	連絡先 :433 岡 義博 TEL 080-6542-8872			

【山域/ルート】 鳥海山 2236m			企画	山行企画部
実施日	8月26日(日)	地形図	(1/25000)	
目的	百名山を登る			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	秋の始まりを感じながら美しい景色を見たい 日本海を眺める			
締切り	8月17日(金)	打ち合わせ	8月20日(月) 18:30 おでつて	
問合せ	No480 竹田真弓 連絡先:TEL090-5356-9405			

【山域/ルート】 焼石岳/中沼コース			企画	ウィークデイクラブ
実施日	8月30日(木)	地形図	焼石岳(1/25000)	
目的	平日山行を楽しむ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	夏の高山植物を見に行きましょう。			
締切り	8月18日(土)	打ち合わせ	8月22日(水) 例会時	
問合せ	工藤敬子 連絡先:TEL 019-635-3203 FAX可			

【山域/ルート】 岩手山 2038.2m (2018年)			企画	山行企画部
実施日	9月2日(日)	地形図	大更 姥屋敷(1/25000)	
目的	創立記念山行			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(無雪期):★★	
コメント	岩手山、姫神山の山頂で、山友会の創立記念を祝いましょう。			
締切り	8月15日(水)	打ち合わせ	8月22日(水)例会後	
問合せ	高橋陽子 連絡先:080-1842-3586 SMS可 佐々木善男 080-1842-3586 SMS可			

【山域/ルート】 姫神山 1123.8m (2018年)			企画	山行企画部
実施日	9月2日(日)	地形図	洪民(1/25000)	
目的	創立記念山行			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	岩手山、姫神山の山頂で、山友会の創立記念を祝いましょう。			
締め切り	8月15日(水)	打ち合わせ	8月22日(水)例会後	
問合せ	高橋陽子 連絡先:080-1842-3586 SMS可 佐々木善男 080-1842-3586 SMS可			

あかげら8月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部
No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp
 までお願いします。締め切りは8月5日(日)です。
 なお、フォーマットは会員専用HP左下の様式ダウンロードを御利用ください。



Amiura

2018年度 第4回運営委員会報告

出席者確認(出席者数：13/22名) 2018.7.12(木)18:50～20:15 杜陵老人福祉センター

渡邊 中村(美) 石澤 小野寺 小田(嘉) 高橋(恵) 中村(数) 松田(幸) 千田 福山 小川 渡部(彩) 松田(希)

【進行：渡辺 記録：中村(美)】

1 会長あいさつ

沖縄から13人、東京から4人の労山の仲間を迎えて早池峰山・岩手山に登り、喜んでもらえた。協力に感謝したい。

2 報告事項・確認事項

(1) 現在の組織状況(7月12日現在)

会員数94名(男51名/女43名) 家族会員5名 会友6名 登山時報 65部(8月号)
No, 459 三沢信祐さん 退会

(2) 各専門部等の取組状況

- ① 山行管理委員会…緊急連絡先の日程について。遠征などの時には移動日は考えない。実際に山に入る日からの担当であることの確認。
- ② 教育遭難対部…7/7～8の実技山行は雨天のため中止になった。
- ③ 組織部…登山教室終了。会計報告は後日
- ④ 会報部…協議事項へ
- ⑤ 自然保護部…7/22 清掃登山、8/11 八方山(ヤマビル観察会)
- ⑥ 事務局…8/1 新入会員オリエンテーション
- ⑦ 県連報告…別紙

(3) その他報告事項…なし

3 協議・承認事項

(1) 会報部から…「あかかげら」6月号を試験的にA4版にプリントして、割り付けについて検討する。

専門部報告のページを設けて、例会後の部会の情報など何らかの記事を掲載することにする。

7月号には自然保護部、山行企画部、事務局が担当する。

《7月号の各記事を、後日原稿とは別にA4版にして会報部に送信すること》

(2) ミニ講座について…8月＝創立記念山行(9/2)の打合せ

9月＝スマホでのGPSの活用について(小田嘉)

(3) 会装備の保管・管理について…使用頻度の少ないもの、劣化したものを点検して(小田嘉)処分案を作ってくることに。

第5回運営委員会は8月8日(水)杜陵老人福祉センターです

事務局から

☆ 会員動向 (7/14 現在)

会員数 94 名 (男 51 名/女 43 名) 登山時報 46 部 家族会員…5 名 会友…6 名
No, 459 三沢 信祐さん退会

☆ 新入会員オリエンテーション

専門部報告を参照のこと

☆ 「ハイキングABC」(安全に楽しく山を歩くために)第4版(2017年)全国連盟発行 1部250円で販売しています。数に限りがあります。希望者はどうぞ。

☆ 6月例会のミニ講座で使用した「山筋ゴーゴー体操」DVD付き、

取り寄せ希望者があれば取りまとめて注文しますので、事務局まで。

スポーツ生理学の石田良恵先生著

内容は、なぜ多い高齢者の登山事故、加齢と筋力の変化、筋力トレーニングの効果、持久力の付け方、筋肉づくりの栄養学、ストックとサポートタイツ等々16項目にわたって、分かりやすく詳しく解説されています。95ページ。1500円+税です。

☆ 当面の予定

8月1日(水)新入会員オリエンテーション
8月7日(火)県連理事会
8月8日(水)第5回運営委員会(杜陵老人福祉センター)
8月22日(水)8月例会(勤労福祉会館)

☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月/10月	教育遭対部	5月/11月	山行企画部	6月/12月	会報部
7月/1月	組織部	8月/2月	事務局	9月/3月	自然保護部

本日の例会・会場担当は 組織部です

8月例会は8月22日(水)18:45～

(勤労福祉会館)

2018年度 第4回県連理事会報告

2018.7.3 (火) 19:00～花巻市学園都市会館室

出席：渡邊健治、千田勝利

1 報告事項

- (1) 遭難対策担当者会議6月16日 (土) 9:00～12:00 西部公民館
盛岡山友会2、生協2、アウトドア5、釜石2、RAM2 計13名参加
①各会からの遭難対策活動の経過報告、②最近の山岳遭難、事故の傾向と対策、③登山に必要な、細引きなどを使ってのロープワーク④それぞれの得意分野のレクチャーなど ⑤ヒヤリハットの事例 ⑥全国連で事例まとめたもの ⑦ジオグラフィカルなど
- (2) 全国スポーツ祭典交流登山 6月16 (土)～17 (日) 栗駒山
6/16(土) 宿泊交流会 30名 千葉5・東京1・新スポ3・岩手1
宮城19+宮城県山協1
6/17(日) 交流登山 5つのコースで79名参加 岩手6名(生協山の会)
- (3) その他
第4回全国連理事会について・・・「全登研」11/23-24(愛知県)への参加を。
公開バスハイクと旅行業法との関係について検討中。

2 協議事項

- (1) お花観賞山行 7月5日 (木) 秋田駒ヶ岳 (7月3日から変更)
盛岡山友会3、生協1、アウトドア6 計10名
- (2) 沖縄花筏の会との交流山行 7月9日 (月)～12日 (木)
7/9(月) 大澤温泉(泊)
7/10(火) 早池峰登山 岩手山青少年交流の家(泊)
7/11(水) 岩手山登山 R&Bホテル盛岡駅前(泊)
*11(水) 19:00～駅前通り「じょ居」で夕食交流会 ¥3,000
- (3) 草野氏によるレスキュー講座開催 7月22日 (日) 9:30-15:00
会場：宮城県立視覚支援学校 体育館 (予定)
内容：レスキューに携わっている方によるレスキューの方法に触れる。
- (4) 県連県外遠征山行について 9月15日 (土)～17日 (月)
9/15(土) 福島県連主催全国交流登山～被災地視察バスツアーに参加する。
9/16(日) 安達太良山～鉄山～箕輪山～鬼面山 吾妻小舎泊
9/17(月) 吾妻小屋～浄土平～一切経山～五色沼～不動沢
※見積金額 36,000円/1人
※参加者が30名以上になるよう各会で勧める。次回理事会で実施可否決定。
- (4) その他
五葉山の石楠花山荘の事業者選定が7月1週に行われるとの情報。

県連主催 県外遠征交流登山のご案内

～福島原発被災地視察&安達太良山から大縦走～

毎年恒例の県外遠征交流登山のご案内です。今年は、福島県連主催「全国交流登山」に参加し、原発被災地を視察した後、線量計を持ち福島の山を縦走する計画です。

原発事故から7年以上が経った今も続く避難生活や山の汚染実態、復興の状況等を現地において肌で感じ学びましょう。参加希望者は下記まで。

記

■行程：9月15日～17日（2泊3日）

9/15(土) 6:00 いわて生協松園店発(貸切バス)=市内各所で乗車～東北・常磐道＝11:00 松川浦なぎさの奏・夕鶴-視察バス乗換[南相馬～浪江町～双葉町～富岡町]～夕鶴着(交流会・泊)

9/16(日) 8:00 夕鶴発(貸切バス)=塩沢温泉～くろがね小屋～安達太良山～鉄山～箕輪山～鬼面山～野地温泉・吾妻小舎泊【12km・6.5時間】

9/17(月) 8:00 吾妻小舎発～浄土平～一切経山～五色沼～不動沢＝福島 IC～東北道～盛岡 IC～市内各所下車＝19:00 生協松園店着【8.5km・4時間】

■申込期限：8月3日(金)まで

■問合せ・申込先：No.2 渡邊健治（携帯・SMS：090-9634-2257）

注1 県内参加者が30人に満たない場合は中止となる場合があります。

注2 参加費は、参加人数によって変わります。(30人参加で36,000円程度)

注3 コースの難易度は、歩行★★、荷物★、技術★ 程度と思われます。



2018 セルフレスキュー訓練実施要項

2018年9月8日(土)～9日(日)

12:00 区界高原ウオーキングセンター集合(かぶと山荘周辺で実施)

【訓練内容】

● 9月8日(土)

13:00～15:10 How to テント泊 …釜石

テント泊って意外と簡単！ テントに必要な装備と軽量化しても美味しいご飯の作り方を皆で学びましょう。

テントを経験している方も最新技術の勉強にて新たな発見があります。初めての方も経験豊富な方も楽しめる内容です。

15:20～16:20 ビバーク訓練に必要なツェルトの張り方 …山友会

目的: 様々な場所でツェルトをどのように張るかを学ぶ、簡単なロープワーク

16:30～18:00 実践ビバーク訓練 …山友会

目的: 実際に野外でチームなどによるビバーク体制を整え、1晩過ごせる計画を立てる。

18:30～ かぶと山荘にて、交流会・宿泊

● 9月9日(日)

9:00～12:00 救命講習 (青少年の家で) …RAM

目的: 心肺蘇生法、AED蘇生法、応急手当方法

Case Work: 実際の事例を使って、自分たちがとった行動と必要な行動とを討議、分析します。

参加者の皆さんが経験したことのある具体的事例を使って検証です。

～<昼食>～ (各自ご用意ください)

13:00～15:00 レスキューロープワーク …RAM

目的: クライミングだけでなく、通常山行にも生かせるロープワークを学びます。とっさの時に生かせるロープワークが盛りだくさんです。

※当日は、区界高原ウオーキングセンターに12時に集合ください。

※持ち物は、日頃の日帰り山行装備でご参加ください。宿泊の方は寝袋、食器など持参。

(日頃ストックをお使いの方は、ストックも思いください)

※個人の救急パックも必ずお持ちください。(ネオキシ、テーピング、6mm 細引きなど)

※資料代等の実費が発生する場合があります。

専門部報告

● 山行管理委員会

【確認事項】緊急連絡先当番について

緊急連絡先の当番は、山行管理委員が週単位（月曜始まり）で交代することとしています。当番の割付表は、あかげら4月号と会員専用HPに掲載しています。しかし、山行が週をまたぐ場合や計画内容が複数日でも山は日帰りの場合など迷う方が居ましたので、改めて以下に示します。

① 山行が週をまたぐ場合

入山の初日が属する週の当番が緊急連絡先となります。

② 一つの計画書に複数の山行がある場合

一つの山行計画書に複数の山行を記載した場合は、各山行の入山日が属する週の当番が緊急連絡先となります。したがって、複数の山行が週をまたぐ場合は、緊急連絡先が別々になります。各山行が終了したつど、各担当に下山連絡を入れます。（携帯の通じない山小屋などの場合は除く。）

● 事務局

新入会員オリエンテーション

担当：組織部・事務局

日時：8月1日（水）18：45～

会場：勤労福祉会館

持参するもの： 第32回定期総会議案書

会の活動内容を知り、山へのお誘いなど仲間作りに必至の内容です。
入会してまだオリエンテーションを受けていない方は、ぜひ受けてください。

* 各専門部の部長又は副部長、志向別グループの代表者も出席をお願いします。

● 山行企画部

創立記念山行のお知らせ

9月2日（日）岩手山・姫神山 コースは参加者で決められます。
会の創立33周年を記念して、会も元気、自分も元気を感謝して
山頂でみんなで祝いましょう。
8月の例会で打合せをしますので、それまでに申し込んでください。

● 自然保護部

ヤマビル観察会実施予定

2014年5月号縦走路にNO.1五嶋 十三さんが掲載されている“ヤマビルの目撃情報調査を”から自然保護部では今回2018年8月11日に八方山でヤマビル観察会を計画しました。

ヤマビルの気になるところ

- ① シカやイノシシなどに付着し、血を吸って増殖する「山の吸血鬼」と呼ばれている。
- ② 一度血を吸うと1～2年は生きるとゆうこの強さ。
- ③ 山林の落ち葉に「ふうー」と息を吹き掛けた。二酸化炭素や歩く振動音に反応して動き出すヤマビルの捕獲方法もあります。
- ④ ヒルは吸い付く際に麻酔成分と血液凝固を阻害する物質を出すため、痛みを感じないまま、出血が続きます。
- ⑤ ヤマビルの生息北限は秋田県、宮城県とされていたがシカ等の移動で岩手県の八方山や飯岡山、雫石町鶯宿エリヤにも生息が広がっている模様です。
- ⑥ ヤマビルの特徴
 - ・ミミズの仲間で陸生のヒル
 - ・体長は2～8センチ
 - ・褐色で背に黒色縦線がある。
 - ・生息は岩手県から沖縄県まで32都道府県
 - ・気温15度以上で活発に動く、(盤を使って移動)
 - ・産卵は一度に50個生む。
 - ・シカなどの爪に穴をあけて寄生するため、遠くへの移動も可能。
- ⑦ 予防と防除は8月11日（土）祝日観察会にてお話がありますので是非参加をお願いします。
- ⑧ 講師は当会員 No.1 五嶋 十三さんです。

行ってきました!

[6月18日～7月16日現在] その1

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会	分類
1	6月15日 ～6月18日	狩場山、ニセコ アンヌプリ、羊 蹄山、余市岳	千走新道口～狩場 山往復、山麓駅～ ニセコアンヌプリ 往復、真狩野営場 ～羊蹄山往復、キ ロロリゾート～余 市岳往復	北海道の山を楽 しむ	L大峠	1	個人
2	6月18日	森吉山	こめつが口～森吉 山～山人平往復	トレーニング	L高橋(恵)・S高橋(英)・小田 (春)	3	個人
3	6月19日	三ツ石山	松川コース	登山教室の下見	L福山	1	個人
4	6月19日 ～6月20日	樽前山、暑寒別 岳	七合目ヒュッテ～ 樽前山周回、暑寒 荘～暑寒別岳往復	北海道の山を楽 しむ	L大峠	1	個人
5	6月20日	六角牛山 (1,294.3m)	峠口～山頂往復	360度の展望 を楽しむ	L岡(義)・S小田(嘉)・阿部 (好)・高橋(恵)・太田代・吉田 (成)・小田(春)・佐々木(善)・	9	志向別 G
6	6月22日 ～6月25日	十勝岳、オフト テシケ山、大雪 山(旭岳)、天 塩岳	展望台～十勝岳往 復、唐沢林道口～ オフトテシケ山往 復、姿見駅～旭岳 往復、天塩岳 ヒュッテ～天塩岳 往復	北海道の山を楽 しむ	L大峠	1	個人
7	6月23日	焼石岳	つぶ沼コース(下 山路:上沼～中沼 ～石沼経由)	仲間に花と残雪 の焼石岳を紹介 する	L阿部(好)・工藤(梢)〔会員外〕 2名	2	個人
8	6月23日 ～6月24日	鳥海山	湯の台コース	3回目のチャレ ンジ	L内堀	1	個人
9	6月23日 ～6月24日	苗場山、巻機山	かぐらスキー場～ 苗場山往復、桜坂 口～巻機山往復	新潟の山に登る	L山田(潔)・S村田・小原(耕)	3	個人
10	6月24日	三ツ石山	松川コース	初級登山教室 (実地②)	【A班】L小田(嘉)・S遠藤 (千)・高橋(陽)・中村(美)・亀田 (英)・亀田(金)・総括S福山 〔会員外〕2名 【B班】L松田(幸)・S松田 (希)・山口・府金(志)・高橋 (敏)・総括L渡邊〔会員外〕4	13	会
11	6月24日	遠別岳 (1,235m)・ 安家森 (1,239.1m)	高原口～遠別岳往 復～安家森往復	トレーニング	L岡(義)・S石原〔会員外〕 1名	2	個人
12	6月24日	高下岳	高畑コース	和賀山塊をみる	L武田(秀)・S佐々木(善)・山田 (純)・菊地(良)・菊地(広)	5	会
13	6月24日 ～6月25日	巻機山、谷川岳	井戸尾根コース、 天神尾根コース	新潟・群馬の山 に登る	L熊谷(久)・S工藤(敏)・級木	3	個人
14	6月24日 ～6月26日	夕張岳	大夕張コース	夕張岳の花を見 に行く	L千田(勝)・S高橋(英)	2	個人
15	6月26日	早池峰	小田越コース	早池峰山の花を 楽しむ、トレ ニング	L阿部(好)	1	個人
16	6月26日	焼石岳	中沼コース	ハクサンイチゲ 鑑賞	L袋地・S日比野・佐々木 (テ)・北田	4	個人
17	6月27日 ～7月3日 (中2日除 く)	ニセイカウ シュッペ山、大 雪山(黒岳 他)、石狩岳、 ニベソツ山	古川林道奥口～ニ セイカウシュッペ 山往復、層雲峡～ 黒岳～白雲岳～層 雲峡、シュナイ ダーコース二十一 ノ沢出口～石狩 岳往復、十勝三俣 口～ニベソツ山往 復	北海道の山を楽 しむ	L大峠	1	個人

[6月18日～7月16日現在] その2

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会	分類
18	6月28日	安比岳	黒谷地温原～安比岳往復	心のスケッチ (安比岳頂上を探す)	L工藤(敬)・S本間(典)・中村(美)・級木	4	志向別G
19	6月29日	薬師岳 (1,644.9m)	小田越～山頂往復	トレーニング	L岡(義)・S太田代・高橋(恵)	3	個人
20	7月1日	岩手山	柳沢コース	岩手山山開き	加藤(桂)〔会員外〕5名 ※生協山の会企画	1	他団体
21	7月1日	大迫町体育館	ボード	外岩でのフリークライミング (リード)のための技術を学び身につける。	高橋(英) ※施設利用者リードクライミング講習会&所属クラブコンペ	1	他団体
22	7月1日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L熊谷(久)	1	個人
23	7月1日	岩手山	柳沢コース	山開きに参加する	L松田(希)・松田(幸)	2	個人
24	7月1日	月山	姥沢コース	クロコリを見る	L久保〔会員外〕1名	1	個人
25	7月1日～7月2日	南アルプス 仙丈ヶ岳・甲斐駒ヶ岳	北沢峠～小仙丈ヶ岳～仙丈ヶ岳～馬の背分岐～北沢峠、北沢峠～仙水峠～甲斐駒ヶ岳～二兎山～北沢峠	県外山行を楽しむ	L小田(嘉)・S大倉・小田(春)	3	個人
26	7月2日～7月3日	苗場山 (2,145m)、谷川岳 (1,963m)	碓氷コース(苗場)、天神平コース(谷川)	大人の休日切符で上越の山に登る	L日比野〔会員外〕2名	1	個人
27	7月3日	八幡平	茶臼口～茶臼岳～黒谷地～八幡平山頂～見返峠	高山植物の花を見る	L岡(義)・太田代・吉田(成)・佐々木(優)・亀田(金)	5	志向別G
28	7月4日～7月8日	芦別岳、夕張岳、幌尻岳	新道口～雲峰山～芦別岳往復、夕張岳ヒュッテ～夕張岳往復、新冠コースインドンナップ山荘口～新冠ボロシリ山荘～幌尻岳往復	北海道の山を楽しむ	L大峠	1	個人
29	7月6日	鞍掛山	東・西・新コース	トレーニング	L佐々木(善)	1	個人
30	7月8日	平庭岳 (1059.5m)	つづじヶ丘P～山頂往復	同期(入会)山行	L本間(典)・S太田代・斉藤(良)	3	個人
31	7月10日	早池峰	小田越コース	沖縄「花いかだの会」交流山行	総括L渡邊・S本間(典)・石澤・石原・日比野・高橋(敏)・佐々木(善)・三浦(明)〔会員外〕17名 ※沖縄「花いかだの会」企画	8	他団体
32	7月10日～7月14日	カムイエクウチカウシ山、ベテガリ岳、神威岳	セノ沢出合～カムイエクウチカウシ山往復、神威山荘手前分岐P～ベテガリ山荘～ベテガリ岳往復、神威山荘～神威岳往復	北海道の山を楽しむ	L大峠	1	個人
33	7月11日	鞍掛山 (897.1m)	相野沢コース(右回り)	トレーニング	L岡(義)・S太田代・高橋(恵)	3	個人
34	7月11日	岩手山	柳沢コース	沖縄「花いかだの会」交流山行	総括L渡邊・中村(美)・佐々木(善)〔会員外〕14名 ※沖縄「花いかだの会」企画	3	他団体
35	7月13日～7月15日	会津駒ヶ岳、燧ヶ岳	滝沢口～会津駒ヶ岳～中門岳往復～キリンテバス停、御池ロッジ～粗嵩～長英新道～沼山峠	夏山の高原を楽しむ	L小原(耕)〔会員外〕3名	1	個人
36	7月13日～7月16日	蓼科山、四阿山、金峰山・瑞牆山	蓼科山七合目ピストン、菅平牧場～根子岳～四阿山～菅平牧場、大池峠～金峰山～瑞牆山～瑞牆山荘	県外の山に登る	L山田(潔)	1	個人

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会	分類
37	7月14日 ～7月16日	両神山 (秩父)	清滝コース	両神山に登る	L中根・石澤・大倉〔会員外〕 1名	3	個人
38	7月14日 ～7月16日	宮城蔵王、大朝 日岳、月山	蔵王エコーライン ～刈田岳～熊野岳 往復、古寺鉱泉～ 小朝日岳～大朝日 岳往復、月山ス キー場～牛首～月 山～姥ヶ岳～月山 スキー場	トレーニング	L内堀	1	個人
39	7月15日	鞍掛山	相ノ沢コース (西 ルート)	トレーニング	L石原〔会員外〕3名	1	個人
40	7月15日	岩手山 (2,038.2m)	柳沢コース	トレーニング	L巖地・S北田・山田(純)	3	個人
41	7月15日	裏岩手(源太ヶ 岳・ミツ石山)	松川温泉～源太ヶ 岳～ミツ石山～松 川温泉	お花見山行	L加藤(桂)・S小田(嘉)・日 比野・小田(春)・吉田(成)	5	個人
42	7月15日 ～7月16日	大朝日岳	朝日鉱泉～鳥原山 コース～大朝日岳 ～御影森山～朝日 鉱泉	七月の連休に大 朝日岳に登ろう	L松田(幸)・松田(希)・久 保〔会員外〕1名	3	個人
43	7月15日 ～7月16日	白馬岳 (2,932m)	猿倉～白馬岳～榎 池	白馬岳に登る	L熊谷(久)・S工藤(敬)・工藤 (梢)	3	個人

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容赦ください。

原稿のお願い

8月号の原稿締め切り

◎ 8月4日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前までとします!

原・稿・の・基・準

■サイズ：B5

■本文枠：幅14cm・縦22cm以内 又は 余白：上・下・右・左20mm

■本文のフォント：10～12ポイント、明朝体、またはゴシック体で

※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守って下さい

□ 送り先 ◎手書き原稿(郵送)

会員No.357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66

Tel 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No.301 久保 加世子

メールアドレス k-kubo@mba.nifty.ne.jp

山行報告



岩手山山行報告書

- (山域) 岩手 岩手山 (網張コース)
(日時) 6月17日 (日曜日)
(コース) 網張スキー場～リフト3本目～姥倉山分岐～切通し～鬼ヶ城～
9合目避難小屋～お花畑～切通し～リフト3本目山頂～網張スキー場
(天候) 霧雨・1,700-1,800m 付近：晴れ
(参加者) CL：熊谷・SL：日比野・中村・工藤敬・加藤・級木・阿部・
工藤梢・内堀 (記録)

(山行タイム)

網張スキー場 7:10～リフト山頂 7:50～姥倉山分岐 9:00～切通し 9:45～
鬼ヶ城 12:10～9合目避難小屋 12:10/13:00～お花畑 14:05～切通し 15:00
～リフト山頂 16:43～スキー場 17:20

(山行報告)

前日より盛岡内、雲が覆い典型的な梅雨の天気である。早朝 4:30 頃起床して、外を除くと昨日より更に悪く岩手山の麓も見えない景色にテンションは下がる一方である。気を取り直し朝食と山のお弁当を作る。6:00 少し前に自宅を出て雫石方面に向かう。小岩井農場を過ぎたあたりから霧雨模様、車のワイパーだけが機械的に動く。網張スキー場に到着した。更に酷くなり濃霧状態に。トイレに行き皆様の元に集合する。私の気持ちはブルーであるが、皆様意外と明るい。リフト券を購入し、リフトに乗り込む、1本目・2本目と繋ぎ3本目からは霧雨は収まり、登山道は乾いた状態に、雨具を脱ぎ、いざ出発である。三ツ石山分岐、姥倉山分岐を過ぎた稜線にて1本目の休憩を取る。風が吹き抜ける場所で意外と寒い。休憩もそこそこに出発する。切通しに到着。本日登山道は乾いており、風もないため鬼ヶ城方面にルートを取る。初めの頃は岩場が少なく稜線の登りで進んで行く。このルートの半分位から岩場が出てくるが、さほど難しくない。みなさん丁寧に岩場を登る。途中、雲の切れ間から秋田方面や岩手山が顔を出す。稜線から西カルデラを覗くと、猪苗代湖、御釜湖が良く見える。最後の干表岩を抜けたあたりから雲がなくなり、岩手山がクッキリ見えるようになる。鬼ヶ城分岐手前では、雄大な岩手山に一同、感動する。本日登山したことに感謝する。何枚か写真に収め、私の記憶と記録になったことは間違いなさそうである。岩手山3度目の登山でここまで見える岩手山は初めてかも知れない。本日、ブルーな気持ちからハイテンションに切り替わる。9合目避難小屋で昼食タイムとなるが、時間的に厳しいとの判断から、山頂アタックを断念する。多分、9合目には12:00前に到着して

岩手山を登って、13:00頃出発しないと行けなかった。

網張スキー場のリフトが乗れなくなる。雄大な岩手山をバックに昼食タイムを満喫する。昼食後は岩手山をバックに記念撮影。記念に残る一枚になりそうである。帰りはお花畑方面に向け出発、意外と長い下りを進むが中々つかない。途中、残雪と木が邪魔をして上手く進めない。ようやく、お花畑に到着、この頃既に太陽は雲の中にあり、今一の天気、途中、お花が咲き乱れ白根葵群生地があり、皆様の気持ちを和ませてくれた。切通しまでは軽い登りで後は、なだらかな下りのみである。最後に来て泥んこの登山道である。せつかく靴が濁ったのに、残念である。リフトの音が聞こえたときは間に合ったと思った。16:43頃リフトに乗り3本乗り継いで降りた。2本目のリフトが長く、寒くて体が硬くなり、リフトを降りる時、足がガクガクとなってしまった。鍛錬が足りないね。スキー場に到着後は、最後の挨拶を行い、解散となった。私はそのまま自宅に一直線で18:10頃には自宅に到着した。

余談であるが、岩手山の別名は巖鷲山（がんじゅさん）で、いわわしやまと呼ばれていた。音読みの「がんじゅ」が、にていることから、転訛したものだと言われている。岩手山は成層火山である。西岩手火山が噴火、その外輪に東岩手火山が噴火して出来たようである。南部片富士の由来である。

今回その、外輪を歩いたのが鬼ヶ城となるようである。また、機会があれば岩手山の魅力を様々な角度から登り、見ることも楽しみの一つになる事は、間違いのないと思う。



—以上—



花と残雪と沼の焼石岳

No.223 阿部好晴

日時：2018年6月23日

天候：晴れ

メンバー：CL 阿部好晴、SL 山澤君好（会員外）、工藤梢、遠藤房男（会員外）

行程：つぶ沼登山口 7:37～金山沢 8:37～石沼 9:30～中沼分岐 10:11～銀明水 10:42～姥石平 12:06～横岳分岐 12:22～焼石岳頂上 12:37/13:25～銀明水 14:30,14:55～中沼分岐 15:10～上沼 15:35～石沼分岐 15:54～石沼 16:16～金山沢 16:50～つぶ沼登山口 17:40

私の初めての登山は中学校 1 年の時、学年だったと思うが学校行事で県南の東稲山（594.9m）だった。その後、高校生の時、母親とその知人達と一緒に和賀の里山に秋のキノコ採りに行った。初めてで、キノコばかり探して歩いたら、みんなからはぐれ、自分がどこにいるかわからなくなり怖い思いをした。

そして、学生時代、3 年時、今回一緒に焼石岳に登った同級生の山澤君に熱心に誘われて米沢市にある西吾妻山に登った。キノコ採りの時に怖い思いをしたので、行かないと断ったが、無理やり連れて行かれたような記憶がある。これが本格的な登山の始まりだった。

秋だったと思うが、午後に登り始め、若女平の西吾妻小屋に泊まるつもりだった。夕方、若女平に着いたが、濃いガスで周囲が全然見えず、小屋を見つけられず、暗くなってきたので下ろうという事になり、懐中電灯で夜道を下りた。

何とか下山してその晩は白布のユースホテルに泊まった。不安な思いはしたが、登山の魅力を知り、そこから積極的に行くようになった。

幸い、アパートにも山好きの同級生がいて、時々、西吾妻を中心に山を楽しんでいた。余談だが、山澤君には囲碁も無理やりやらせられ、その後はまり、学生時代はよく碁盤に向かった。彼には、人生を豊かにしてくれる二つの趣味を教えてくれたことに感謝している。

前置きが長くなったが、私の遊びの師匠である山澤君も、リタイア後地元の仲間と山を楽しんでいると聞き、今度 47 年ぶりに一緒に登ろうということになり、6 月 23 日（土）、花の時期の焼石岳中沼コースに決定した。

一方、6 月 17 日（日）岩手山綱張りコース往復の会山行に参加した。その時、新入会員の工藤梢さんと知り合った。去年から始めて、きちんと山の技術などを学びたいとインターネットで調べて入会したとのこと。

今回初めての岩手山は時間の関係で九合目の小屋までしか行けなかったが、鬼ヶ城の岩場をびびりもせず、みんなと同じペースで登り、また、前日の16日（土）には秋田駒ヶ岳国見コースを登ってきたというのには驚いた。

それで、たぶん焼石岳も登ったことがないのかなと思い、声を掛けてみたら行きたいということになった。

当然コースは迷いなく大好きな中沼コースに決め、計画書を出した。

ところが、花の時期の土日の中沼駐車場は6:30には満杯になるという情報を6月20日六甲牛山に登った時、高橋 恵美子さんから聞き、焼石岳観光開発連絡協議会に確認した所、その通りだった。山形市や盛岡から来るには6時半前の集合は厳しいと思い変更した。



(つるにからまれ、ねじれたブナの木)

コース側にはスコップが置いてあった。ロープはあったが全然使えない状態だった。中沼側の方はロープが使える、下りる時にお世話になった。

分岐からはいつもの焼石岳登山。木道や花、溪流があり、それまでのルートとは趣ががらっと変わった。

登り始めて、3時間ちょっとでまずは最初の目的地の銀明水に着く。銀明水の水はあいかわらず美味しい！たっぷり飲んで、水筒の水を入れ替えて、一服してさあ出発。

登り始めてすぐ、焼石岳の特徴である大雪溪現れる。

姥石平、泉水沼付近はなだらかな登り、そこを過ぎると登りがきつくなり始め、横岳分岐に出る。目の前に鳥海山が富士山そっくりの姿をして どんと現われた。

栗駒山、月山などの山々もきれいに見える。おまけに彩雲も現れた。そして、眼下には緑と残雪のコントラストがきれいな姿を見せていた。



考えてみれば、花の時期は土日を避け、平日に行っていたなと思い出した。

中沼コースは何度も登っているが、つぶ沼コースは初めて。登山道は結構整備されており、道幅も広く、歩きやすい。途中、金山沢、石沼を経て中沼分岐まで2時間半ほど、ずっと樹林帯をゆっくり歩く。中沼分岐には例年のように残雪があり、つぶ沼



まずはここで登ってよかったなど全員満足！

最後の急登を登りきると、頂上にたどり着く。要した時間は登り始めてちょうど 5 時間だった。風も弱く、ゆっくりとお昼を食べる。鳥海山や月山は見えたが、北方面の岩手山や八甲田の峰々は見えなかった。

記念撮影をして、いざ出発。快調に歩いて 40 分で銀明水。ゆっくり休んで、中沼を指す。

指す。

私以外の 3 人は焼石岳登山の楽しみであり、ビュースポットでもある中沼、上沼を見たことがないので、30 分ぐらい遠回りになるが、是非見せたいと思い、分岐から上沼を目指す。分岐の残雪の所は、ロープに頼って下りる。

木道が多く、周りにミズバショウを始めいろいろな花が咲き乱れていて、尾瀬を思わせるような雰囲気を感じる。もっとも写真やテレビでしか見たことはないが、つぶ沼コースの樹林帯とは全然違う！



横岳を背景にした静かな上沼を味わい、中沼に着き、石沼分岐の所で 15:35 になっていたので、私の好きなベンチのあるビュースポットまでは行かずに、石沼に向かう。

木の階段も相当古く、表面に苔が生えていた。こ

れは人があまり入っていないなと思わせられた。でも、最初はピンクのテープが要所要所にあり、ルートがはっきりしていたが、しばらくすると、それも全然なく、人があまり入っていないので道がはっきりせず、それでも方角的にはこっちかなと思う方向に向かった。10 分ぐらいはテープも何もなかったもので、不安げに歩いた。

もし違っていたら、戻って、中沼登山口に下り、林道を歩いてつぶ沼駐車場まで行くと腹を決めて歩いた。

そうこうしている内につぶ沼コースに出る急登の木の階段が出てきて、これで間違いないと胸をなで下ろした。



つぶ沼コースに出て、そこから1時間20分、ただひたすら歩くだけ。途中、若い男女の二人連れに出会ったが、男性が二人分の荷物を背負い、女性がびっこを引いて歩いていた。声を掛けたら、膝をやられて、段差のある所がきついとのこと。

「それは変形性膝関節症ですね。日頃、一万歩位歩いたり、自転車で足の筋肉を鍛えたらいいですよ。エスカレーター、エレベーターをなるだけ使わずに階段を歩くなど」とアドバイスをした。

というのは私も4年前、建設現場でアルバイトをして、1年ぐらいで階段を手すりなしで降りられない、和式トイレでしゃがめない、正座が出来

ないなど、同じ変形性膝関節症にかかりました。でも、今は完全ではないけど、元気に山を歩いているし、かつてのような症状はありません。

アドバイスをしたことを毎日実行しているからかなと思っています。

それはさておき、あの二人、明るい内に下りられるのかなとか、男性の方は経験者のようだからヘッドランプぐらいは持っているよなどと心配していた。

でも、若い人達が山に入るのは嬉しいねなどと話しながら歩いている内につぶ沼コース登山口に無事到着！

遠回りしたせいもあり、4時間15分かかった。

駐車場のそばのつぶ沼を眺めるとテントが二つ三つ見えた。次は、花の時期は前の晩ここでキャンプして、朝早く中沼コースをあるくのがいいねということになった。バンガローも5棟あり、1棟5000円とリーズナブルです。ただ、熊が出るので要注意とのこと。

iPhoneの万歩計アプリは39,280歩を示していた。ちなみに6/17の岩手山網張りコース往復は34,158歩だった。

帰りは男性陣3人はひめかゆ温泉で汗を流し、帰る。山形の二人は3時間で着いたとのこと。

長いコースですが、焼石岳は急登も少なく、程よい勾配で花、残雪、沼などを楽しめる変化の多い、大好きな魅力的な山だと思います。

15年くらい前に、山友会の仲間と4人で南本内岳～焼石岳～金明水小屋（泊まり）～夏油温泉の縦走をしたことがあります。紅葉の真っ盛りの時期で、南本内岳、焼石岳の紅葉は三ツ石山より鮮やかできれいだなと鮮明な印象を受けました。



高下岳 和賀山塊との出会い かたつむり（蝸牛）山行

No. 354 菊地良夫

日時：2018年6月24日（日） 晴れ時々曇り

メンバー：CL:武田秀雄 SL:佐々木義男 装備：山田純 会計：菊地広子

記録、あかげら：菊地良夫

高下岳（北峰）1322.8m 高下岳南峰 1320.0

登山口から山頂まで 4.2km 標高差 820m

全行程（登山口→高下岳北峰→南峰→登山口）所要時間：6時間30分

行程：繫大橋 P6:30 → 高畠登山口 7:05 着・7:20 発 → ピーク 836m 8:30 → 分岐〈稜線〉 10:30 → 高下岳（北峰）山頂 10:50 着・昼食・高下岳山頂 11:20 発 → 分岐〈稜線〉 11:30 → 高下岳（南峰） 11:40 着・11:50 発 → 分岐〈稜線〉 12:00 → ピーク 836m 13:10 → 高畠登山口 13:50

▼ 山容の特徴

ブナ（山毛櫸）の森：登山口から標高 1000m ぐらいまでブナの森の連続。その後ダケカンバの森、山頂近くからハイマツ。ブナ樹林帯に包まれた大自然の豊かさ。

▼高下岳南峰 山頂を示す標識なし。ケルンが二つあり、二つ目のケルンが山頂らしい。

▼稜線（とくに高下岳南峰）からの和賀岳の眺望がすばらしい。



高下岳南峰からの和賀岳



南峰正面から見る和賀岳：両腕を広げ、どっしりと腰を低く構え、せり上がりで両手を伸ばす力士像を感じさせる。まさに山塊。

▼ 地図にない(?) 高畠口からの登山道

国土地理院をネット検索して、高下岳をだす。ところが高畠口からの登山道が記載されていない。地理院地図に載っていないのだから、道迷いの心配がないのかと思ったら、実際は実に立派な登山道がある。

登山口から分岐（標高 1300m）まで広い登山道：広い幅（およそ 3m 幅）で藪払いがされている。この仕事はおそらく地元の人たちがしたのだろうが、登山者にとって実にありがたい。ブナの落葉が土となって歩きやすい。

▼ 登山口までの車道

一般道から村道（砂利道）に入ると、車一台しか通れない狭い道幅。それが登山道入口まで続く。対向車が来たらお手上げの幅。幅寄せ用の場所もなし。

沢内村といえば、女神山や真昼岳に登った記憶がある。高下岳ははじめてのコース。<コーゲ>という名を聞いただけでは、意味が分からない。<高下>という漢字を見て、<コーゲ>と読めるなど了解。が、<高>と<下>でどんな意味が生まれるのだろう。この漢字の組み合わせだけでは意味が分からない。意味不明なので、もともとはアイヌ語かと勝手に決めて、まずは出発。

登山口のちょっと先に正式の駐車場がある。そこに行く前に、登山口の横に三台程度駐車できる場所があった。すでに一台駐車している。その横に車を置く。登山準備をして、さっそく出発。深いブナの森の中を進む。クマに注意の標識が登山口にあった、これだけのブナの森なら、熊の食糧もじゅうぶん。熊がいてもおかしくない。途中で動物の糞を見つける。ちょっと小さめの糞だったので、熊ではないと思ったが、やはり熊かもしれない。

樹林帯がずっと続く。普通、樹林帯に入ると、蒸し暑くなる。さわやかに歩くというわけにはいかない。ところが、このルートは尾根を登るように作られている。秋田駒に登るときの横長根の強風にはいつも悩まされるが、尾根風が吹く地形だ。ここでは樹林帯の中なので、風があるのだが、ちょうど涼しくなる程度に弱まってしまう。

ていねいに藪刈された3メートル幅の広い登山道が続き、ブナの落葉が生み出した歩きやすい道。快調に頂上に向かった。といっても、<老骨に鞭打つ>気はない。超スローペース、亀より遅いくかたつむり>山行だ。

かたつぶりそろそろ登れ富士の山 小林一茶

高下岳南峰と北峰への分岐となる稜線に到着。南峰から高下岳主峰の北峰に向かう予定だった。しかし南峰へは下ってから登る。これはつらい、ということになり、北峰の帰りに南峰へ寄ることにした。この分岐(稜線)から、今回の目的の和賀岳が堂々とした姿を現す。ただし、南峰に邪魔されて和賀岳の左端の方が欠けてしまう。高下岳主峰に到着。



高下岳北峰 後方は南峰

昼食をすませ、南峰に向かう。分岐(稜線)に戻り、そこからは下って登る。南峰への道は藪刈がされていない。足元や頭上に注意しながら進む。このまま放置されていれば、登山道も藪道になってしまうかも。石が積んである場所(ケルン)が見えたので、ここが南峰かと思った。頂上を示す標識がない。もう少し進むとまたケルンが現れた。ここにも山頂の標識はない。ここを過ぎると下りになる。ここが南

峰だろうと決める。南峰からの眺めがすばらしい。和賀岳の全容が余すところなく視界に入る。その後、

登山口まで無事下山。途中、アイスクリーム屋に立ち寄り、<慰霊の森>の看板を目にし、全日空機零石衝突事故の悲惨さを思い出しながら帰路につく。

初級登山教室を引き受けて3年目

組織部 福山茂和

前任者の小田さんから2016年に組織部を引き受けてから3年目となり、2015年までは初級登山教室も西部公民館と共催の年もあり、それなりの一般受講者を確保できていましたが、私が引き受けてからは、2016年は6名、2017年は10名、2018年は9名と少なく、独立採算の初級登山教室としては会計的にも厳しい年が続いています。

最低でも2017年のように10名の一般受講生を確保できると、スタッフの方への交通費負担等がなくなり、運営する担当者としてはスタッフとしての参加のお願いの声も掛けやすいです。

一般受講生を集める上で今年は新たに「盛岡タイムス」にも募集の記事の掲載をお願いしたところ、机上講習の取材にも来られ盛岡山友会の初級登山教室が新聞の記事となりました。

また、今までは記事の掲載をお願いしても掲載されることがなかった「マシェリ」に初めて募集の記事が掲載され、マシェリが配布された後に連絡があった方は9名中4名と、媒体としての「マシェリ」の底力を感じました。

なお、初級登山教室参加後に入会された方は、2016年は3名、2017年は2名、今年は何名の方が入会してくれるでしょうか？

以上で3年間の総括は終わり、今年の実技山行について。

1、6月3日 鞍掛山



晴天に恵まれ、一般受講生の方の足も揃っていたので順調な登山となりました。この登山では机上講習で習ったことの実践として地図とコンパスを用いての進行方向の確認等を行いました。

最初はコンパスの扱いに戸惑っていた人も登山終了の頃には慣れたようでした。

2、6月24日 三ツ石山

小田さんの頃は秋田駒ヶ岳だったのですが、御嶽山の噴火もありリスクを避けるために私が担当してからは松川温泉からの三ツ石山となっています。

また、昨年からは出発も早めて昼食時間に余裕を持たせて、登りに見つけた姫竹入りのラーメンを参加者に振る舞うことで好評を得ています。

今年は少し雲が多くて眺望には恵まれませんでした、一般受講生の皆さんには残雪歩きも併せて山登りの楽しさを体感していただけたことと考えています。

スタッフとして参加していただいた方々、本当にありがとうございました。



“すきとほった風”

discovery 発見と invention 発明ということばがある。発見とか発明という日本語（訳語）は見慣れているからすぐ分かる。でもよく考えると、＜発+見＞という漢字の組み合わせでどんな意味が生まれるのかと考えると分からなくなる。discovery 発見の語源をみると（dis- 取り外す -covery 覆い、カバー）、＜覆いを取り外す＞ことだと分かる。なにかに覆われて、見えなかったものが表に現れ、見えたとき、それを発見したとなる。一方、invention 発明は（in- 意味を強調する語 -vention 来る）＜この世に初めて到来したもの＞となる。コロンブスはアメリカを＜発見＞し、蒸気機関車は＜発明＞されたとなる。

発明や発見をするために人はどんな頭を使うのだろうか。どんな頭の使い方の違いがあるのだろうか。見えないものを見る、この世にないものを創り出す、というためには、まず頭で考える（想像する）必要がある。普通の頭ではだめだから、天才の頭をしばしば借りることが多い。分からな事、見えないものを見えるようにするためには、なにはともあれ疑問を持つことだ。発明、発見のための疑問とはどんなものなのだろうか。

＜何のために＞山に登るのかとか、「どのように」登るのかという疑問がある。これは答えやすい。誰もが自分の体験とか希望とかから産みだされたことを語っている。虚実さまざまの語りが生み出されるが、その語られたもののうち、いつでも、どこでも、誰にでも通用するものが生まれた時、＜発明＞となる。

「なぜ山に登るのか？」—「そこに山があるから」ではとても満足しないだろう。でも、山がなければ、登山そのものがないことになる。＜なぜ＞という質問は、山があることを前提にした質問だ。山とはカバー掛けのようなもの。カバーを取ったら、なにが現れるかを期待するのが、この＜なぜ＞という質問だ。でも＜なぜ＞と質問されるとすぐ答えが浮かぶとはいかない。カバーで隠されていた、本来そこにあったものを見て、答えればよい。見たものを素直に言えばよい。実に簡単なことのように見える。ところが実際はカバーの奥にあったものを語るのが難しい。なぜなのだろう。

覆われていたものとは、見る前からあったものだ。いろいろ考えた後で見えるものを創り出すとは違う。自分の体験によって産みだすものなら、注意深い思考（想像）力があれば、その姿が見えてくる。ところが、初めて出会うものに対しては、まずそれがいったい何なのか、自分とどんな関係（意味）になるのだと考えなければならぬ。そこにまだ＜名付けえないもの＞があるのが分かっているのだが、何であるかがわからない。あっても無いに等しいもの、透明なものとして目の前に現れる。

＜なぜ＞という問いは、この透明な存在を語れという要求だ。語るということは見えるようにするという行為だ。見えないものを見るようにせよといわれたら誰でも困ってしまう。生きるとは、＜なんのために・・・＞とか、＜どのように・・・＞生きるかを考えることなのだとされると、そうだと思ってしまう。ところが、人は＜なぜ＞生きるのかという疑問

になると、<う～ん>となってしまう。この世に生きるということは、登山のための山とおなじだ。山があるから登山するように、生きるという覆いをはがせば、覆われたものが現れてくる。山と登山のような関係になるものとは一体何だろう。生まれる前から存在し、体験できないものとはいったい何だろう。

この世で、想像によってしか存在せず、しかも生と深いかわりのあるものとは、いったい何だろう。「視れども見えず、聴けども聞こえず」というものとは何か。それは死後の世界、<死>という存在だろう。<生>という<山>を登ることによって、見出すものは<死>の世界から見るこの世ではないだろうか。死の衣（死骸）という<山>は見える。この衣を取り除いた後に出てくる死後の世界は誰にも分からない。つまり透明なのだ。姿を隠しているのではない。あると思うのだけど、見えない。透明な存在だと考え（想像す）るほかない。人間は考える葦だ。だから<なぜ・・・>という問いを発し、見えないものを凝視しようとする。

天から与えられた才能をもつ人人たちは見えないもの、透明なものを語ろうとする。語られたことはことばの世界では文学となる。ロセッティというイギリスの詩人は見えない風を語った。

誰が風を見たでせう？ 僕もあなたも見やしない。
けれど木の葉を顫（ふる）はせて 風は通りぬけてゆく。*¹

風そのものは見えないけれど、その存在を示す「木の葉」があるじゃないかというわけだ。啄木は木の葉を使わずに、あの世からの視線で風を見てしまう。「魂魄なかばからだをはなれたのですかな」と死にかけて自分の見たものを以下のように語る。

あなたの方からみたら
ずるぶんさんたんたるけしきでせうが
わたくしから見えるのは
やっぱりきれいな青ぞらと
すきとほった風ばかりです。*²

死の一年前、喀血して声を出すこともできない啄木の目には、見えないはずの「すきとほった風」が見えてしまう。この世でなく、あの世から見れば「きれいな青ぞらとすきとほった風」が啄木に見えた風景となる。啄木を見る現世の人には、喀血して横たわる「さんたんたるけしき」となる啄木の姿なのだろう。が、あの世からの視線を持つ啄木にしか見えない（<発見>した）情景こそ「すきとほった風」なのだ。

発見との出会いを求めるなら、<なぜ>という問いを持ち続けることになる。

*¹クリスティーナ・ロセッティ 西條八十訳

*²宮沢賢治 疾中「眼にて云ふ」より

交流の広場

先日 TV で映画を観る機会がありました。

劔岳「点の記」と言う新田次郎さん原作の映画です。

ご存知の方も多いと思いますが。陸軍測量隊（現 国土地理院）が立山連峰で日本地図を完成させる為山岳測量に取り組んだ話です。

Wikipedia を見ると「点の記」とは三角点の戸籍又は、案内図のようなもの。基準点の設置、測量の記録の事とあります。今現在 10 万 600 箇所三角点がありこの全てに点の記が有る事になります。計り知れない先人達の苦勞が三角点に凝縮されているんですね。

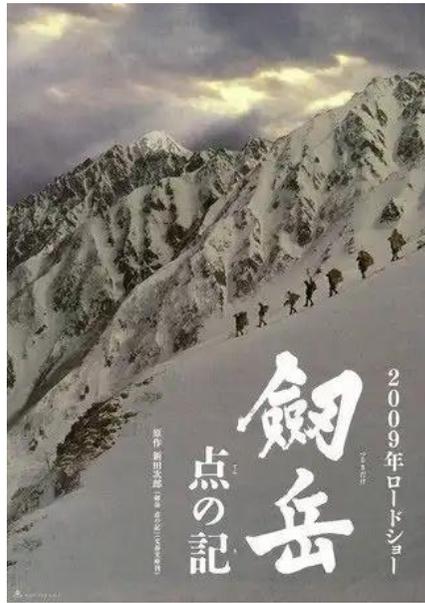
それ以後ピークを踏んだ際に三角点を見つけると嬉しくなり登山の楽しみが増えました。

映画では今から 100 年以上も前に未踏峰の劔岳を案内した宇治長次郎さんを、香川照之さんが演じられています。

明治時代末期の登山の有り方や装備、スタイル等を知る事もでき今を生きる者として驚く事ばかり…

特に思った事は服装と足元!!まだ映画を観ていない方の為に詳しい事は申しません。

実話ゆえただただ驚きです。



会報部員のひとこと

大好きになった長次郎さん。温厚で思慮深く、山を愛し人の事を重んじる…なんて素敵な山男なんでしょう！

#長次郎半端ないって!!

いつの日にか長次郎雪溪に挑戦し長次郎さんに会いたいと願う。

No480 竹田真弓



■□ 表紙の言葉 □■

— 「クロユリ」 —

ここ数年、クロユリを見たいと思っていました。東北では月山で見られるとか。月山には4月に山スキーに行くけれども、その後はなかなか行く機会がありませんでした。

昨年、クロユリを見に月山に行きましたが、残念ながら既に終わっていました。今年こそと再度計画。小さくて可憐な花にやっと逢うことができました。

No.301 久保加世子

あかげら 第356号

2018年7月25日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 渡部彩子

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

□■盛岡山友会のホームページ□■

http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に！～